



JC '75
社団法人日本青年会議所

第24回中国地区会員大会



とき 1975.6.22

ところ 鳥取市民会館



'75 TOTTORI

社団法人日本青年会議所

第24回中国地区会員大会

主催

社団法人日本青年会議所中国地区協議会

主管

社団法人鳥取青年会議所

主催 社団法人日本青年会議所中国地区協議会

主管 社団法人鳥取青年会議所

日本JC
1975年度
スローガン

人間への期待
創ろう正しい日本の心
明日への行動

JCI Creed

We Believe :

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men,

That earth's great treasure lies in human personality; and

That service to humanity is the best work of life.

JC 宣言文

理性と法による社会の秩序を確立し、

個人の創意と公正な競争を通じて、

経済の発展を実現し、

隣人の幸せを願う者が正しく報われる

民主主義社会の達成を誓い、

民族の気概を結集して日本の平和と

独立を守り、

人間性への信頼こそ、すべての国を結ぶ

きずなであることを確信する

綱 領

われわれJAYCEEは

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者相集い力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

心の緑を大地に

緑の希望を人の心に

育てよう明日のために

豊かな自然の鳥取に集い

躍動する若い力で

明日の英知を育てよう

日本JC
1975年度
スローガン

人間への期待
創ろう正しい日本の心
明日への行動

JCI Creed

We Believe :

この心は人類の共通の目的を以てし、
The common good is the guiding and
purpose to human life ;

この心は人の尊厳を超越し、
The dignity of man transcends
the sovereignty of nations;

この心は経済的公正を以てし、
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;

この心は法の支配を以てし、
That government should be of laws
rather than of men,

この心は地球の偉大な宝を以てし、
That earth's great treasure lies in
human personality; and

この心は人類への奉仕を以てし、
That service to humanity is the best
work of life.

JCI 宣言文

理性と法による社会の秩序を確立し、
個人の創意と公正な競争を通じて、
経済の発展を実現し、
隣人の幸せを願う者が正しく報われる
民主主義社会の達成を誓い、
民族の気概を結集して日本の平和と
独立を守り、
人間性への信頼こそ、すべての国を結ぶ
きずなであることを確信する

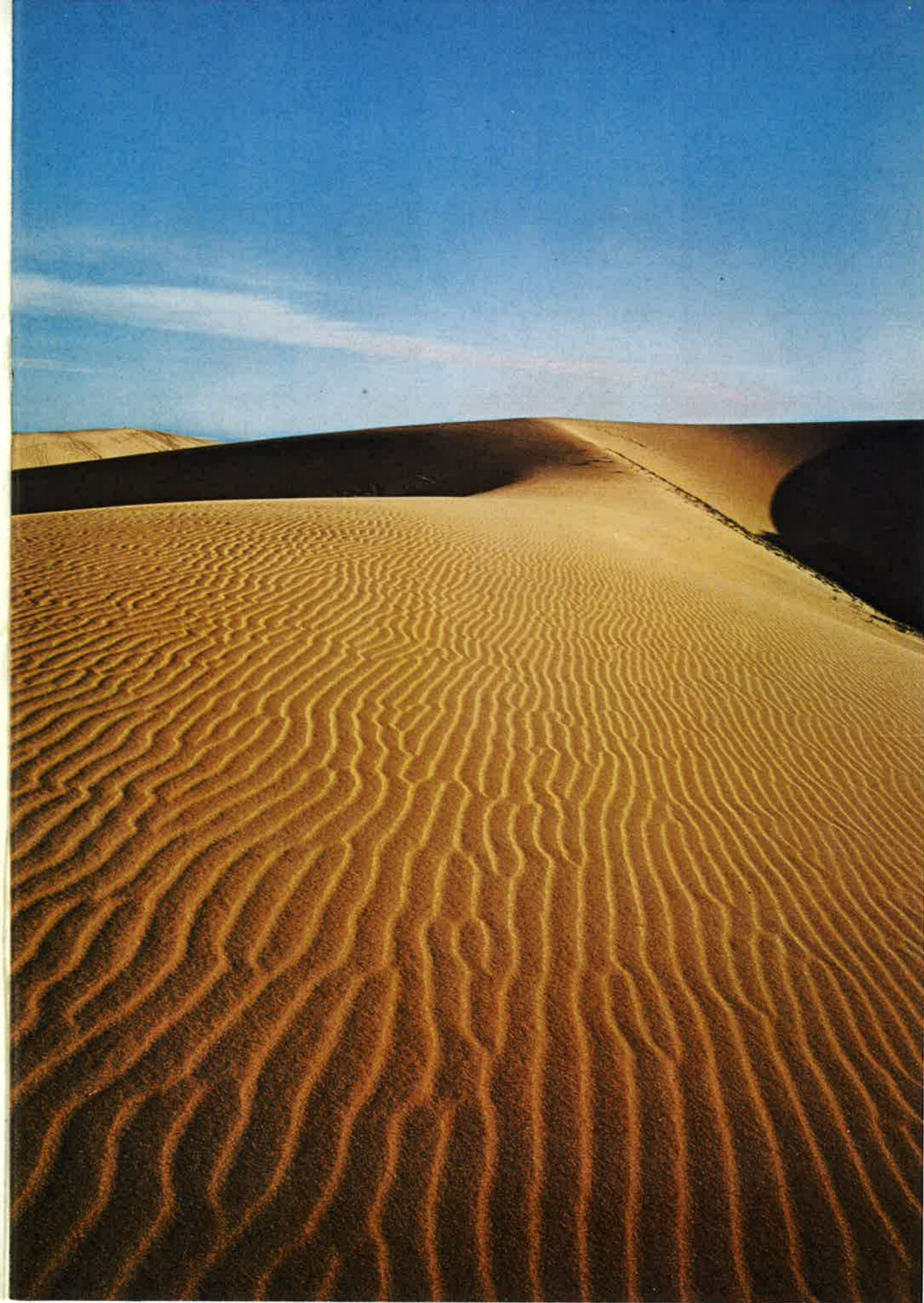
この心は人類の共通の目的を以てし

綱 領

われわれは

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集いの力を合わせ
青年としての
英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

この心は地球の偉大な宝を以てし





社団法人 日本青年会議所
会 頭 佐 藤 敬 夫

第24回中国地区会員大会を祝して

「新しい時代の始まり」という自覚のもとに活動を開始した1975年も半ばを経過した。

— 昨年の石油ショック以来、混迷を続ける社会のなかで、我々JCはあらゆる問題に真剣に取り組んでいる。

人間はいつの時代も、得体の知れない巨大なエネルギーに翻弄され、押し流されそうになってきた。しかし、いつの時代も、勇気ある人間がそのエネルギーを逆手にとり、活用し、導いて時代への橋頭堡を築いてきた。

いまこそ、我々は、新しい黎明にむかって、誰よりも先んじ、勇気ある一步をふみ出さねばならない。

今日、我々が創り出さねばならぬ社会——隣人の幸せを願うものが正しく報われる社会は、健全な大衆を求めている。自己の内にある欲情邪念と戦い、これに打ち克つ思慮深き良き生活者であり、トータルな判断力を持つ人間である。

この意味において、我々がJC運動を通じて修得した知識と教養が、真に試練を受けるのも、まさに

これからである。

中国地区を旅行すると、表日本に較べて、中国地区は経済的にも文化的にも遅れているという話を聞く。戦後、これまでの発展の過程で、大都市中心主義が横行してきたことは否めない事実であり、その結果、遺憾ながら、狭い日本の中で地域差が生じている。これは、地域活動を基盤とする我々のJC活動が必ずぶつかる問題である。

しかし、ここに、山陽新幹線、中国自動車道という新しいルートが誕生し、中国地区は、新しい発展の段階を迎えられた。昭和50年代は、まさに、中国地区発展の幕明けとも言えよう。

中国地区会員諸兄の活動も、この発展にともない、新しい展開をみることであろう。今後のご活躍を大いに期待したい。



社団法人日本青年会議所
中国地区協議会
会 長 森 本 弘 道

ごあいさつ

社団法人日本青年会議所の第24回中国地区会員大会が、ここ鳥取市において、平素JC運動に多大のご理解とご協力をいただいております来賓各位をお迎えして盛大に開催できますことは、主催者としてこのうえない喜びと存ずる次第であります。ご参加いただきました佐藤会頭をはじめ日本青年会議所役員諸兄ならびに中国地区内外の多数の会員のみなさんに心からお礼を申し上げます。

さて、JC運動に灯がともされてから今日まで4分の1世紀の間に、幾多の先輩の努力によってわれわれの運動は拡大の一途をたどり、質的にも大きな変化をとげてまいりました。中国地区においても、51の街においてやがて4千人に及ぼんとする会員が、それぞれの地域において「明日のために、大変エネルギーに力強い運動を展開しておられることはご同慶にたえないところであります。

しかし、一方で中国地方は、3月に開通した山陽新幹線、ならびに本四連絡橋、中国縦貫道路の進展など新しい交通ネットワークによって、質的に大き

く変貌しようとしております。われわれはこの事実を十分に認識のうえ将来を予見する気概をもって、とくに山陰と山陽のきずなを強化するためにも、地区内の交流と結束の輪を拡げていく必要性を痛感いたしております。

われわれの運動には県境はありません。各地JCがもっている知的エネルギーを高め、地域のために役立てると同時に、JCをより開かれた組織として地域間で刺戟を与え合うような交流のために発揮されるよう願ってやみません。中国地区協議会はそのために努力し、本大会はそのようなきつかけを作るためにこそ、大きな意義をもつものであります。

みなさんのご協力で、実り多い大会にさせていただくよう心からお願いを申しあげ、本大会を主管いただいた鳥取青年会議所会員をはじめ多大のご尽力を賜りました先輩諸兄ならびに関係各位に深甚なる敬意を表し、ごあいさつといたします。



鳥取県知事 平林 鴻三

祝 辞

日本青年会議所第24回中国地区会員大会が鳥取市で盛大に開催されますことは、まことに喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げますとともに、中国各地から御参集になりました皆様を県民とともに歓迎申し上げます。

わが国にJC運動が発足して24回目の地区大会を開催されるわけですが、この四半世紀近い皆様の御活躍によりまして、JC精神の浸透と社会における実践団体としての地位を築かれたことは、まことに御同慶にたえません。

伺いますれば今年のスローガンは「人間への期待、明日への行動、創ろう正しい日本の心」ということですが、JC運動の根本に立脚し、青年の英知と勇氣と情熱を通じて、明るい豊かな社会を築かれる活動目標の推進に期待いたします。

今日の社会経済情勢は、国際情勢の推移とともに、それに対応して平和の維持を図り、豊かで調和のとれた住みよい社会の実現に努力せねばならないと思っております。その点から申しまして、JCの皆様が奉仕、友情、修練の目標をかげられて、常日頃公徳心の高揚と住民福祉の向上に御尽力賜わっておりま

すことに衷心から敬意を表するものであります。

地方公共の仕事は、時代の推移とともに多様化し、増大してまいっております。将来の地域社会を、より堅固な、健全なものにするため、お互い努力してまいりたいと存じます。

地域社会発展の担い手として第一線で活躍しておられる皆様方に対する期待は、まことに大きいのであります。JCの皆様には、今後共一層のご尽力を賜わりますようお願い申し上げます。

本日は、中国各地から多数の会員の方々がお集りになり、いろいろの問題を話し合われますことは、誠に意義深いものがござります。

どうか本大会を機に、ますます相互の連繫を密にされまして、よりよき社会の建設にご精進くださいますようお願いいたしますとともにこの機会に温泉と自然に恵まれた鳥取県を御視察いただければ幸せでござります。

最後に今後JCの益々の御発展と会員皆様のご健勝を心からお祈りして祝辞といたします。



鳥取市長 金田 裕夫

祝 辞

青年会議所第24回中国地区会員大会が本市で開催されますことは、光栄に感じ感謝いたしますとともに、各地区より御来会の各位に対し心から歓迎の意を表します。

本市は人口12万人、静かな山陰の一都市であります。鳥取県の県都でもあり地方中核都市としての整備を目指しながら鋭意努力しています。

此の際所懐の一端を申し上げますと、当地は社会的諸条件の制約もあり、所謂開発は山陽地区に比べおくれしておりますが、一方美しい自然は豊富であります。今後近代的な豊かな都市の発展を期するためには、まだまだ開発—(その是非について論議がありますが)—を進めなくてはならないと存じております。そのためには自然との調和をどう保つかが大きな課題でもあります。

地方政治の目的はその地域の住民の「しあわせ、その根源として豊かさを追求することが基本とならなくてはならぬ。今日迄経済の成長に伴い積極的に開発が進められて来たが、最近それについての反省というか、批判というか、逆に自然の保護の要請が強くなっており。私は今日迄実施されてきた開発が余りにも急であったため、弊害もあったことは事実であり、その是非は個々具体的に論議されなくてはならないが、一般論としてその時点での必要性、その果たした役割と意義を抹殺すべきではないし、それを全面的に否定する論者には与すべきでないと思う。

最近開発を全面的に悪とし非とする論をなし、自らは

開発の利益を享受し、それをフルに利用しながら、特定の地域が未開発であるが故にその地域がいかに貧しくても、又その地域の住民が開発を望んでいても、自然を保護することが至上命題であるかの如き無責任な論をなすものが往々にしてある。住民を豊かにする開発を否定してはならぬ。要はいかにして自然と調和して進めるかであり、そのための具体的論議こそが必要なのである。

私は常々思っておることであるが、我国の世論は極端に変化し一色に塗り替えられる傾向をもってある。それなりの理由もあるでしょうが、数年前までは開発の効果とバラ色の未来を謳歌していたが、最近資源の有限がもたらす未世論的な思想や自然の保護を至上とする論議が盛んである。一般的に世論は国民の総意ともいべきもので尊重すべきであるが、我々は自らの地域のことはその客観的な条件の上に立って、自らの頭脳でもって適正な誤りのない判断をしなくてはならないと思う。即ちその地域社会の総意をもって決めなくてはならないが、若い行動力があり理解力があり且つ明日の社会を担うべき各位が、新しい地域社会造りのための世論を盛り上げそれを実践するための努力と機能を果して頂くよう強く期待します。

各位の当地の将来像等御意見を賜れば幸であり又当地の新緑の風情を心ゆくまで御満喫下さい。各位に対して期待しているところを述べ歓迎の御挨拶とします。



鳥取商工会議所
会 頭 米 原 稔

祝 辞

この度第24回日本青年会議所中国地区会員大会が当地で開催されるに当り一言挨拶を申し上げる機会を得ましたことを喜ぶものであります。

申すまでもなく今日内外の経済情勢は激動をつゞけ安定を欠いております。まさしく転換の時期にあると見るべきでありましょう。新世紀にあと25年というこの昭和の50年代は未来の形成につながる基本的な Kontur が描かれ始める誠に意義深い時期であります。皆さん方の大部分は昭和の10年代にお生れの方であり、幼少年期は戦後の苦難な時代から目ざましい経済成長の時代にわたるのではないかと想察します。そして40年代は後半に至って漸次様相を変じて参ったわけですからその間の明暗については多感な皆さんは色々感得されていることゝ思うのです。

一億一千万の日本人の中明治生れが480万、大正生れが1,500万と言われ、全人口の70%を越す昭和生れの中でも戦後生れが過半を占めている現状でありま

すから、これから10年の間のわが国進展の真の担い手こそは皆さんであることを泌々と痛感する昨今であります。

こうした点から考えましてもこの度の大会は大変に意義のあるものと存じます。どうか皆さんの清新にして活気あふるる熱誠によつて大会の気分が盛り上り所期の効果をあげられますよう期待してやみません。



社団法人鳥取青年会議所
理 事 長 山 根 常 愛

歓迎のことば

緑あざやかな季節、砂丘といで湯の街鳥取へようこそお越し下さいました。

本日ここに社団法人日本青年会議所第24回中国地区会員大会の開催にあたり、御来賓各位並びに中国地区内はもとより、全国各地より多数の会員諸兄を鳥取の地へお迎え出来ました事は、主管致します私共鳥取青年会議所にとりましてこの上ない喜びでございます。この名誉と大いなる修練の機会を与えていただいた諸先輩、並びに全国会員の皆様に心より感謝の意を表したいと存じます。

激動と混迷の時代と言われて久しく、私共は戦争以来かつてない大きな試練の中にあえいでいます。私共はこの厳しい現実を十分に認識し、時代に促した心のふれ合いを求める大会運営を行いたいと努力を重ねてまいりました。

「心の緑を大地に、緑の希望を人の心に」、鳥取の地は、この病める日本列島において、この大会テーマを考えるにふさわしい地であると自負するものでございます。

当地鳥取は、過去昭和18年の大地震、昭和27年の大火災という度重なる決定的な試練に見舞われたにもかかわらず不死鳥のようによみがえり、今なお久松山下に広がる古い街並と、新しい街づくりの調和した落ち着いた姿を残しています。私達は先人の限らない街づくりの努力を尊重し、自らの住む地域社会の開発に若人の情熱を捧げたいものと存じます。尚本大会に馳せ参じていただいた多くの皆様と共に青年会議所運動の修練の成果と日ごろの反省を確かめ合い、より深い友情の下に中国は一つであるという共感を求めたいと考えるものでございます。

おわりに本大会開催に際し各方面より賜りました絶大なる御支援と御理解に対し心より感謝申し上げ歓迎の言葉といたします。



第24回中国地区会員大会
実行委員長 潮 巽 市

新緑に燃える6月、中国地区の北東部、自然を残した日本一の砂丘と青い海原、緑の山野に囲まれた歴史も古い城下町鳥取へようこそおいで下さいました。

本日、ここに、社団法人日本青年会議所第24回中国地区会員大会を開催するにあたり、来賓各位並びに地区内はもとより全国各地から会員多数のご参加を得ましたことは、主管致します私達鳥取青年会議所にとりまして、この上もない喜びであります。心から歓迎の意を表わすと同時にお礼申し上げる次第であります。

一年余りの間、全会員の情熱と創意をもって、日夜準備致してまいりました。

一昨年の石油危機に端を発した昨今の経済社会の激動は、私達会員は勿論、国民一人々々にとりましても問題は多く、失業、就業率の低下など生活不安を抱えていることは明白であります。

このような最中に中国地区の諸兄諸氏の会員2000有余名が一同に会して「心の緑を大地に、緑の希望を人の心に、育てよう明日のために」の大会テーマに基き、開会式、分科会で語り合い、諸問題に対して解決の糸口を見出し、明るい豊かな社会を作るべく、その足固めをする大会にしたいと思います。

又本大会の趣旨は、私達会員だけのものではなく地域社会からも大いなる関心と期待がよせられていることを自覚し、ご出席の会員諸氏におかれましては、誠意と情熱を持って「C」運動の理念を再確認していただきたいものであります。

懇親会では多くの人と語りあい、心のふれ合いの場として、より自己の人生に幅を広げるべく有意義なものになるよう心がけております。

最後に本大会開催にあたり各方面から賜りましたご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

鳥取砂丘

鳥取砂丘は、中国山脈の石英砂が鳥取市を貫流する千代川によって日本海にはこぼれ、北西の季節風によって堆積したもので、千古の謎を秘めた海岸砂丘と内陸砂丘を兼ね備える、わが国最大規模の砂丘で天然記念物にも指定されています。風力3～6mで移動をはじめ砂粒が風向、地形などによりさゞ波型の風紋や砂簾を描き出し、噴火口型の摺鉢を形成する神秘さは、時には飛砂となって付近の住民をなやませましたが、今では綿密な計画のもとに実施された砂防林が砂害を押え、一石二鳥の重要な役割をはたすべく着々整備されています。





'75 TOTTORI



大会日程

6月21日(土)

中国地区協議会 正副会長会議	13:00~14:30	(三洋健保センター)
中国地区協議会登録受付	14:00~15:00	(三洋健保センター)
中国地区協議会 及び公式訪問報告会	15:00~18:00	(三洋健保センター)
中国地区協議会 前夜祭	18:30~20:00	(三洋健保センター)

6月22日(日)

登 録	8:30~10:00	(鳥取市民会館)
開 会 式	10:00~11:15	(鳥取市民会館)
昼 食・移 動	11:15~12:00	
分 科 会	12:00~14:00	(鳥取市民会館・福祉会館)
移 動	14:00~14:20	
閉 会 式	14:20~15:20	(鳥取市民会館)
移 動	15:20~15:50	
懇 親 会	15:50~17:30	(旧体育館)
O B 同 窓 会	14:20~15:30	(第一ホテル)

6月23日(月)

記念ゴルフ大会		
登 録	8:00~9:00	(三朝カントリークラブ)
競 技	9:00~16:00	(三朝カントリークラブ)
懇 親 会	16:30~18:00	(三朝カントリークラブ)

大会プログラム

開会式 / **22日** 10:00~11:15 / 鳥取市民会館大ホール

開会宣言	中国地区協議会会長所信表明
国歌斉唱	日本青年会議所会頭あいさつ
J C ソング斉唱	来賓祝辞
J C I C R E E D 朗読	祝電披露
J C 宣言文朗読	記念事業発表
J C 綱領唱和	大会決議文起草委員指名
物故会員追悼	閉 会
来賓・日本 J C 役員紹介	
参加 J C 紹介	
鳥取青年会議所理事長歓迎のことば	

閉会式 / **22日** 14:20~15:20 / 鳥取市民会館

分科会報告	次期開催地発表
大会決議案発表・決議	大会旗伝達
スポンサー J C 感謝状贈呈	次期開催地理事長あいさつ
前年度役員感謝状贈呈	全国大会(松山) P R
褒 賞	若い我等斉唱
	閉会宣言

懇 親 会 / 15:50~17:30 / 旧体育館

O B 同窓会 / 14:20~15:30 / 第1ホテル

分科会

第1分科会

テーマ 国際問題
“今後の日米関係と日本のアジア外交”

会場 鳥取市民会館

要旨 米国と経済軋轢の増すなかでアジアから撤退する米
国に防衛を依存する日米関係の今後のあり方と、ア
ジアの中での日本の果す役割について

講師 河野洋平氏(衆議院議員)

牛尾治朗氏(元日本青年会議所会頭)

議長 池内義和君(三原J.C.)日本青年会議所広島ブロック協議会会長

副議長 河本明君(尾道J.C.)日本青年会議所広島ブロック協議会副会長

司会 伊野本孝允君(広島J.C.)日本青年会議所地区運営特別委員会委員

レポーター 森数茂利君(尾道J.C.)日本青年会議所北方領土特別委員会委員

望戸弘彦君(大竹J.C.)日本青年会議所指導力委員会委員

第2分科会

テーマ 教育問題
“会頭と語る「教育とどう取り組むか」”

会場 鳥取市福祉文化会館 4F 大会議室

要旨 「教育」——身近な問題で、大切で、それでいて我々が
なおざりにしている問題である。佐藤会頭、鈴木教育
問題委員長、辰野J.C.デー特別委員長をまじえ、卒直
に取り組む方を考え、語り合い方向性を求めたい。

講師 佐藤敬夫君(日本青年会議所会頭)

鈴木茂雄君(日本青年会議所教育問題委員会委員長)

辰野克彦君(日本青年会議所J.C.デー特別委員会委員長)

議長 三村進洋君(備前J.C.)日本青年会議所青少年開発委員会委員

副議長 秋山秀崇君(西大寺J.C.)日本青年会議所岡山ブロック協議会
J.C.デー特別委員会委員長会議議長

コーディネーター 片山義久君(岡山J.C.)日本青年会議所岡山ブロック協議会会長

セクレタリー 梶谷勝彦君(岡山J.C.)日本青年会議所岡山ブロック協議会副幹事

レポーター 三村健君(総社J.C.)日本青年会議所広報委員会委員

新中淑弘君(新見J.C.)日本青年会議所J.C.デー特別委員会委員

第3分科会

テーマ 日本海時代
“その胎動と可能性を探る”

会場 鳥取市福祉文化会館5F 会議室

要旨 裏日本といわれ、格差と後進性に悩む日本海地域に
とって期待するものは何か、公害と過密の大平洋ベ
ルト地帯にくらべ、美しい自然と風土との調和のと
れた再開発の道は。……新しい日本の方向を探る。

講師 黒川紀章氏(黒川紀章建築都市設計事務所社長)

内藤正中氏(島根大学文理学部教授)

米原正博氏(元日本青年会議所会頭)

議長 大谷公夫君(松江J.C.)日本青年会議所指導力開発委員会委員

副議長 樋口明機君(江津J.C.)日本青年会議所島根ブロック協議会
開発委員会委員長

遠藤邦夫君(松江J.C.)日本青年会議所島根ブロック協議会
広報委員会委員長

セクレタリー 山下武之君(松江J.C.)日本青年会議所島根ブロック協議会
総務委員会委員長

パネラー 武永尚也君(出雲J.C.)日本青年会議所経営開発委員会委員

足立統一郎君(境港J.C.)日本青年会議所鳥取ブロック協議会副会長

吉賀晶司君(萩J.C.)萩青年会議所青少年開発委員会副委員長

レポーター 恒松克己君(平田J.C.)日本青年会議所島根ブロック協議会
指導力開発委員会委員長

第4分科会

テーマ 社会開発
“J.C.って一体なんだ”

会場 鳥取市福祉文化会館 3F 会議室

要旨 現場からの報告と外からJ.C.活動がどう見られてい
るだろうか。

講師 竹島泰浩氏(ダイヤモンドタイム社プレジデント 論説委員)

前田完治君(日本青年会議所直前会頭)

議長 三浦義孝君(徳山J.C.)日本青年会議所山口ブロック協議会会長

副議長 中野信行君(宇部J.C.)日本青年会議所アカデミー西部委員会幹事

セクレタリー 田中英在君(山口J.C.)日本青年会議所経営開発委員会委員

レポーター 吉田藤一君(岩国J.C.)日本青年会議所社会開発委員会委員

野村謙三君(境港J.C.)境港青年会議所副理事長

記念事業



鳥取市は32万5千石の城下町として400年の歴史を誇り、日本一の山城が存在していたことは全国的に旧知の事実でございます。鳥取市民の心のふるさと久松山下が、戦後荒れるがままになされ、古き良き時代を想う市民の心を痛めてまいりました。幸いにして、文化庁、県、市の御努力により城跡の環境整備が徐々になされ、今では市民の憩いの場として親しまれております。その由緒ある城跡には、鳥取城北の御門が唯一の建物として古の面影を残してまいりました。その御門も幾歳月の風雪のため荒廃著しく、ここに私共青年会議所が修復の念にかられ記念事業として取り上げたわけでございます。

私共はこの城門の修復を単に記念事業の一環のみにとどめることなく、市民の鳥取城跡を大切に想う心を尊重し今後の運動の方向として取り上げたいと思っております。

設計 鳥取市
施工 清水建設K.K



《シンボルマークの説明》

開催地とつとりのとを中心にして山々のあざやかな緑と、日本海のすみきった碧さと、雄大な砂丘の金色をシンボライズしたものです。